

### 第十二回国体スケート 競技会ここに開幕

一月二十四日午後五時日高校生の奉持する国旗、大会旗、連盟旗を先頭に入場を開始、ついで大会役員、さらに北海道から青森、岩手、しんがり、栃木がつとめ参加都道府県の選手団入場整列、やがて開会が通告され、西村栃木県水連会長が冬季大会の開会を宣言、終つて国旗、大会旗、連盟旗と相次いで掲揚、炬火は日光青年団の奉仕によりこゝろ公会堂わきの開会式場に到着、昭和二十七年よりかぞえて五年目再び炬火が点火された。炬火もえさかるうちに前年度総合優勝の東京都より天皇杯、皇后杯の返贈、主催者小川栃木県知事の挨拶、次いで文部大臣、日本体協会長、佐々木日光市長の祝辞があり、本県代表伊田選手堂々の宣誓を行い、日高生三百名による若い力の合唱が行われ、六十発の早打揚花火が一きわさえて夜空をいろどるうちに選手団は退場、開会式は滞りなく済んだ。

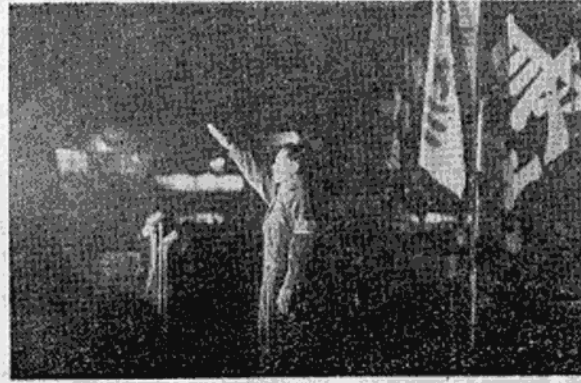
### 天皇皇后兩陛下 国体冬季大会スケート 競技会に初の行幸啓

(一月二十五日)  
二十四日開会式の感激さめやらぬ裡に、二十五日は早朝より各種競技が市内各リンクを中心に展開されたが、この日市内はさらに兩陛下の国体スケート競技会初の御臨幸と見られる。



↑ 神橋附近を通過する行進

↓ 炬火到着

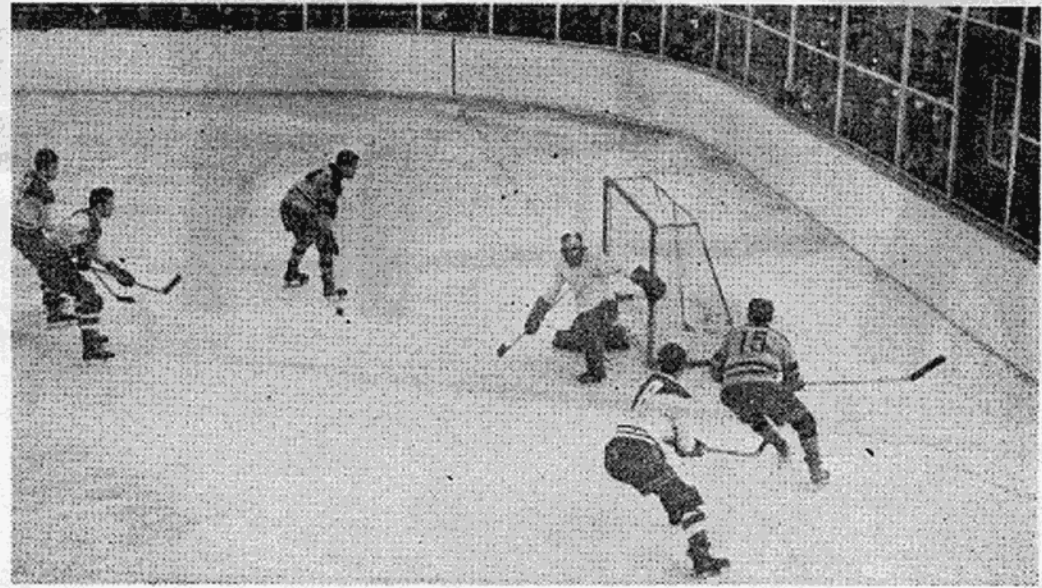


↑ 宣誓する本県伊田選手

← 開会式場



# 終る



↑ 東京チームと三位を争う  
栃木チーム

← 青森チームゴールに迫る  
栃木チーム

↓ 優勝成る(高校部優勝の  
北海道チーム)



↑ 右から  
細尾リンク全景  
炬火を背に  
スタート



### 「フィギュア」 三リンクに華麗の 技さそふ

フィギュア競技は水沢リンク、古河電工リンク、東照リンクの三リンクを使用してはなやかな技をくりひろげ

お見と一星の男子大会新記録よく

アイスホッケー競技は今市中野寺、古河電工、東照宮の四リンクを使用して行われたが一般は昨年度優勝の青森チームを北海道が破り優勝、高校は前年に引続き北海道が連覇優勝を遂げた。わが栃木県チームもよく戦い一般四位、高校三位と夫々入賞した。

**ホツケー**  
一般、高校とも  
北海道が優勝  
わが縣チームも善戦  
アイスホッケー競技は今市中野寺、古河電工、東照宮の四リンクを使用して行われたが一般は昨年度優勝の青森チームを北海道が破り優勝、高校は前年に引続き北海道が連覇優勝を遂げた。わが栃木県チームもよく戦い一般四位、高校三位と夫々入賞した。